

## 「いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクト」～子どもの貧困対策～ 令和2年度の取組について

子どもの貧困対策は、現に困難を抱える家庭に経済的支援を行うだけでは十分でなく、子どもが将来貧困に陥ることのないよう、貧困に陥るリスクの低減の観点から既存事業を積極的に活用し、多面的視点で予防を図ることが重要である。そこで、板橋区では、「いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクト」と題して、総合的・組織横断的に子どもの貧困対策を展開している。

具体的には、すべての子どもたちの学びの機会を保障し、就学前から発達段階に応じた教育・保育を受けられる環境整備を進めること、支援の必要度の高い子どもに対して優先的に施策を講じること、支援を必要とする子ども・家庭が確実に支援につながるよう相談体制の強化を図り、地域と区が連携・協働して取組を進めること、などの基本的な考え方の下、対策を推進するものとされている。

このたび、このプロジェクトの令和2年度の取組を取りまとめたので報告する。

### 1 令和2年度の本事業

このプロジェクトでは、4つの基本施策を定め、関連事業を位置付けている。令和2年度に充実等を図る主な事業は、基本施策ごとに以下のとおりである。

#### (1) 子どもの「生き抜く力」の養成

幼児期の教育及び保育の重要性に鑑み、幼児教育・保育の無償化を実施し、すべての子どもが安心して質の高い幼児教育・保育を受けられるようにする。また、子どもの居場所づくり活動支援事業について、地域や企業等に対する積極的な情報提供等を通じて更なる地域との繋がりを図り、子どもが安心して過ごせる地域の居場所づくりを充実していくとともに、フードドライブを推進し、食品を子どもの居場所団体等に提供することを通じてその活動を支援する。

- 幼児教育・保育の無償化 【1,672,121千円】
- 子どもの居場所づくり活動支援事業 【4,816千円】
- フードドライブの推進 【505千円】 など

#### (2) 子どもが育つ家庭（親）への支援

ひとり親が高等学校卒業程度認定試験合格のための講座受講を修了した際と、試験に合格した際に支給するひとり親家庭高卒認定試験合格支援給付金について、その給付割合を見直し、ひとり親の学び直しを支援する。また、特別区内の区立母子生活支援施設を広域利用できる措置を実施し、母子の生活を支援する。

幼稚園の副食費について、年収 360 万円未満世帯の子ども及び全所得階層の第 3 子以降に対し、副食費を補助し、低所得世帯・多子世帯を支援する。また、児童養護施設を卒園し大学等に進学した者に対し、家賃等を助成する児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクトの実施を通じ、施設卒園者が高等教育を受ける機会を保障するとともに、その生活を支援する。

- ひとり親家庭自立支援給付金 【51,292 千円】
- 母子生活支援施設の運営 【99,123 千円】
- 実費徴収に係る補足給付を行う事業 【54,363 千円】
- 児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト 【1,902 千円】 など

### (3) 子どもたちの育ちを支援する地域社会の構築

不登校の児童・生徒及びその家庭に対し、民生委員・児童委員等の地域の人材(家庭教育支援チーム)が訪問型支援を行い、保護者の子育てに対する不安感や負担感を解消するとともに、家庭や子どもたちの孤立化を防ぐ。

また、保護者や地域の人材等が教育活動を支援する学校支援地域本部事業について、統括コーディネーターを置くとともに、区立全小中学校に板橋区コミュニティ・スクールを導入し、これらの取組の更なる充実を図る。

- 子どもの居場所づくり活動支援事業 (再掲)
- 家庭教育支援チームの運営 【143 千円】
- 学校支援地域本部事業の推進 【24,512 千円】
- 板橋区コミュニティ・スクールの導入 【5,548 千円】 など

### (4) 支援につなげるしくみづくり

子育てに不安や困難さを感じている保護者を対象にグループミーティング等を実施する親プログラムについて、保育者を増やすことで、保護者がプログラムに参加しやすくする。

また、重篤な児童虐待事件について、要保護児童対策地域協議会で分析・検証する際に、学識経験者・弁護士等の専門家の意見を徴し、児童虐待の発生予防、早期発見・早期の適切な対応、虐待を受けた子どもの保護・自立に向けた支援など、今後の再発を防止する取組を進める。

- 親プログラム 【458 千円】
- 要保護児童対策地域協議会 【317 千円】 など

## 2 令和 2 年度の事業規模 (当初予算案)

計 86 事業 合計 9, 692, 772 千円

(うち、新規・拡充等事業: 12 事業 1,915,100 千円 内訳は上記 1 番に記載のとおり)

## 3 進行管理

本プロジェクトの推進については、子ども・子育て支援本部の下に設置した「子どもの貧困対策連絡調整会議」において、事業の実施状況の把握や連携等を図るとともに、「板橋区青少年問題協議会」、「板橋区子ども・子育て会議」において意見を求めていく

# 「いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクト」 ～子どもの貧困対策～

目的

【充】新規・拡充等事業

## すべての子どもたちが夢と希望を持って成長する板橋の実現

### 基本施策

#### I 子どもの「生き抜く力」の養成

38 事業 6,476,919 千円

- 確かな学力の定着・向上と教育の機会均等**
  - ・【充】 幼児教育・保育の無償化 (A・B・C・D)
  - ・子どもの学習・生活支援事業「まなぶ一す」(A・B・C・D)
  - ・板橋区放課後対策事業「あいキッズ」の推進 (A・B・D)
- 健康増進と生活習慣の形成支援**
  - ・【充】 子どもの居場所づくり活動支援事業 (A・B・C・D・E)
  - ・子ども食堂支援事業 (A・B・C・D・E)
  - ・【充】 フードドライブの推進 (A・B・C・E)
- 若者の就職支援**
  - ・いたばし若者サポートステーション (A・B・D)

など

#### II 子どもが育つ家庭（親）への支援

27 事業 3,031,343 千円

- 子育てしやすい環境づくり**
  - ・産後ケア事業(訪問型・宿泊型) (B・C・D)
  - ・保育施設の整備 (A・B・C・D)
- 経済的支援の充実**
  - ・【充】 ひとり親家庭自立支援給付金 (A)
  - ・【充】 母子生活支援施設の運営 (A・B・C・D・E)
  - ・【充】 実費徴収に係る補足給付を行う事業 (A)
  - ・【充】 児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト (A・B)
- 家庭教育の充実**
  - ・【充】 家庭教育支援チームの運営 (B・D・E)

など

#### III 子どもたちの育ちを支援する地域社会の構築

5 事業 51,015 千円

- 地域人材の育成支援・活用**
  - ・子どもの居場所づくり活動支援事業(再掲)
  - ・家庭教育支援チームの運営(再掲)
  - ・【充】 学校支援地域本部事業の推進 (B・E)
  - ・【充】 板橋区コミュニティ・スクールの導入 (D・E)
  - ・いきいき寺子屋プラン (B・D・E)
- 子どもの居場所づくり**
  - ・中高生勉強会「学びiプレイス」(A・D・E)
  - ・子ども食堂支援事業 (再掲)

など



#### IV 支援につなげるしくみづくり

16 事業 133,495 千円

- 相談体制の連携・強化**
  - ・ひとり親家庭等臨時相談窓口の設置 (A・B・C・D)
- 虐待の防止**
  - ・【充】 親プログラム (B・C・D・E)
  - ・【充】 要保護児童対策地域協議会 (A・B・C・D・E)
- 情報提供の強化**
  - ・ひとり親家庭サポートブックの作成・配布 (A・B・C・D・E)

など

### 関連事業が貧困に陥るリスクの低減に寄与する主な要因

#### A 経済的要因

家庭の経済状況が子どもの将来の貧困をもたらすもの  
例；教育投資、家計の逼迫、資産の承継  
など

#### B 家庭環境的要因

家庭の生活環境が子どもの将来の貧困をもたらすもの  
例；親のストレス、育児スキル、孤立  
など

#### C 健康的要因

家庭の健康状況が子どもの将来の貧困をもたらすもの  
例；低栄養、障がい  
など

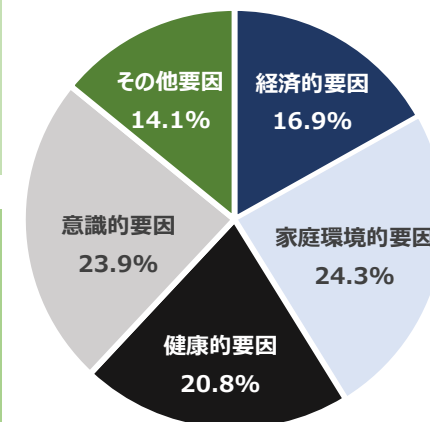
#### D 意識的要因

家庭の意識が子どもの将来の貧困をもたらすもの  
例；意欲、自尊心、自己肯定感  
など

#### E その他要因

例；地域、学校環境、ロールモデル  
など

関連事業のリスク低減寄与構成比(予算事業 86)



※一つの事業が複数のリスク低減に寄与するものとしてカウントしている。